

# みかんぐみ 佐久島弘法 プロジェクト

2010年2月27日(土)～3月31日(水)  
愛知県一色町佐久島 島内4ヶ所

※野外展示につき常時見学できます。

80年前、佐久島に八十八ヶ所の小さな弘法の祠(ほくら)が建てられた。  
黒壁の集落や静かな森の中に点在する祠をたどる道は、  
島の歴史と自然を満喫できる散策道でもある。  
時を経て、失われた祠も少なくない。  
今年、弘法道に新たな祠を設計するのは、みかんぐみの4人の建築家——  
弘法さんの「家」が建築の力を借りてよみがえります。

加茂紀和子

曾我部昌史

竹内昌義

マニエル・タルディッツ

公開制作 2月0日～00日(天候等の都合で制作できない日もあります)  
佐久島弘法巡り現地説明会 2月28日(日)

## 【同時開催】

■スタンプラリーをしながら常設作品をめぐるアート散歩「佐久島アート・ピクニック2009」

■雛祭りをテーマに9名の現代美術家による展覧会「佐久島・雛の祭り」

※島内で開催中のすべての展覧会の作品設置場所は、島内の東西渡船場・井天サロンの無料配布する案内チラシ、地図をご参照ください。

【佐久島井天サロン】愛知県稲沢市一色町佐久島西側 41 〒444-0416 TEL. 0563-78-2001 FAX. 0563-78-2050 開館時間/9:00～17:00 月曜休館(月曜が祝日の場合、祝日明けの最初の平日) 入館無料 西海下船徒歩4分  
●佐久島公式ウェブサイト [www.japan-net.ne.jp/benten/](http://www.japan-net.ne.jp/benten/) ●三河・佐久島アートプラン21 ウェブサイト [www.m-mole.com/sakushima/](http://www.m-mole.com/sakushima/) 三河・佐久島アートプラン21 主催：一色町 共催：大字佐久島・島を美しくつくる会  
【お問い合わせ先】一色町役場佐久島振興室 愛知県稲沢市一色町一色伊勢崎 61 〒444-0492 TEL. 0563-72-9607 FAX. 0563-72-8508 E-mail [saku-is@town.ishiki.lg.jp](mailto:saku-is@town.ishiki.lg.jp)  
【企画・制作・佐久島からの手紙編集】オフィス・マッティング・モウル (担当：内藤/黒田) 愛知県岡崎市羽根町長田2 〒444-0813 TEL. 0564-58-2787 FAX. 0564-58-2784 E-mail [office@m-mole.com](mailto:office@m-mole.com)

## Vol.27 2010 早春号 佐久島 から の手紙

## 三河・佐久島アートプラン21 佐久島体験2009 祭りとアートに出会う島

早春のアート&イベント開催のお知らせ

『みかんぐみ 佐久島弘法プロジェクト』  
開催のお知らせ

三河・佐久島アートプラン21は、島の持つ自然や伝統とアートとの出会いによって、  
佐久島の活性化を目指します。



■佐久島大学3「海を渡る蝶アサギマダラ観察会」2009.10.11  
／「弘法道写生大会」2009.11.3／撮影：香村聖文





## 展覧会

あいちアートの森 佐久島プロジェクト

## 佐久島・雛のまつり

2010年2月27日(土)～3月14日(日)

会場／弁天サロンなど6ヶ所 弁天サロンのみ月曜休館

強風と高波が厳しい佐久島の冬も終わり、おだやかな春がはじまる頃、佐久島で「雛まつり」をテーマにした9名のアーティストによるグループ展を開催します。メイン会場の弁天サロンは、島の古民家を改修した公共施設。他にも、古い漁具倉庫、渡船場の待合室、大島に渡る棧橋、さらには海上を移動する町営渡船など、佐久島ならではの場所に作品が展示されます。アート作品の他にも、島民や有志が制作した雛飾りや、佐久島の雛まつりで実際に飾られていた古い土雛・土人形も展示され、春を告げるにふさわしい内容となっております。愛知県とは思えないような、遠くに旅をした気分が味わえる小さな島のアートな旅に、ぜひ、おでかけください。



## 参加アーティスト

猫野べすか(町営渡船 第二さちがせ船内)／山田勝洋(西港渡船場 2階待合室)／松岡徹(西港渡船場周辺)／  
ふるかはひでたか(弁天サロン南側 漁具倉庫)／荒木由香里(弁天サロン2階 屋根裏の間)／藤埴祐子(弁天サロン2階 港の見える間)／  
テラオハルミ(弁天サロン1階 寄り合いの間)／松澤有子(弁天サロン1階 ギャラリー)／南川祐輝(大島棧橋ポケットパーク)

## あいちアートの森とは？

http://aichartnomori.com/

「あいちアートの森＝アートが開くあいちの未来＝」は文化庁の「地域文化芸術振興プラン推進事業」を活用し、現代アート作品やパフォーマンス等の展覧をおこなうものです。市町村、地域の文化施設、芸術系大学と連携して、今後のアートによる地域おこしに貢献するとともに、県民の方々に現代アートへの関心を高めていただくとするものです。 ●主催／文化庁・あいちアートの森実行委員会 あいちアートの森はあいちトリエンナーレのパートナーシップ事業です。

## ◆展覧会に手芸で参加『雛のかざりづくり体験』

1月9日(土)～2月13日(土) 9:00～17:00 会場／弁天サロン・創作の間 ※弁天サロンは月曜休館  
弁天サロンに材料(布、綿、糸等)、道具(針)が常備してあり、説明書にしたがって簡単な手芸でつくることができます。  
作っていただいた雛かざりは、展覧会会期中に弁天サロンで展示されます。申込み不要、参加無料。

## ◆大人も子どもも大好き!『佐久島・雛のまつり スタンプラリー』

2月27日(土)～3月14日(日) 9:00～17:00 弁天サロン他、6ヶ所(9作品) ※弁天サロンは月曜休館  
全9作品をスタンプラリーで回ります。作品設置場所の地図付きスタンプシートは佐久島東西渡船場、弁天サロンにて無料配布。

## ◆『佐久島・雛のまつり オープニング・レセプション』

2月27日(土) 会場／弁天サロン・寄り合いの間  
●「アーティストによる作品説明会」14:00～15:00 ●「オープニング・パーティー」15:00～16:30  
出品作家による作品説明と交流の会。いずれも申込み不要、参加無料。

## ◆地域の伝統体験『三河の雛祝い／伊賀まんじゅうのふるまい』

2月27日(土)、28日(日)、3月6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)

10:30～17:00 (各日なくなり次第終了) 会場／弁天サロン  
佐久島のある愛知県の三河地方で古くから雛まつりのお菓子として親しまれてきた「伊賀まんじゅう」を、会期中の土、日曜日に弁天サロンにて先着100名にお茶うけとしてふるまいます(無料)。

## アートイベント

メイン会場の弁天サロン (西港徒歩4分)



## ワークショップ

## 松澤有子ワークショップ『佐久島の音玉をつくろう』

2月28日(日) 14:00～16:00 会場／弁天サロン・寄り合いの間 定員／30名 要事前申込 参加無料  
越後妻有アートトリエンナーレでのインスタレーションで印象を残した松澤有子が、佐久島の浜辺で集めたものを小さな玉に閉じ込めます。振ると澄んだ音のする「音玉」を制作します。

## 藤埴祐子ワークショップ『ガラス版画で絵本をつくろう』

3月7日(日) 14:00～16:30 会場／弁天サロン・寄り合いの間 定員／30名 要事前申込 参加無料  
ガラス作家の藤埴祐子の指導で、絵本のワンシーンをガラス版画で描くワークショップ。幼児から大人まで誰でも参加できます。

## テラオハルミワークショップ『お猿のバッジをつくろう』

3月14日(日) 10:00～16:30 会場／弁天サロン・創作の間 申込み不要 参加無料  
開催時間中いつでも参加できます。所要時間30分程度。さまざまな布を使ってカラフルな作品を制作するテラオハルミの指導で、フェルトによる猿のバッジを制作します。針と糸で簡単な手芸ができる人なら誰でも参加できます。

定員のあるものは、定員になり次第締め切りとさせていただきます。お申し込みは、電子メール又はファックスに、①氏名 ②年齢 ③連絡先電話番号(携帯電話可)をご記入の上、お申込みください。  
●展覧会、ワークショップお問い合わせ・お申込み先: オフィス・マッチング・モウル(担当:黒目) E-mail/office@m-mole.com ファックス/0564-58-2784 電話/0564-58-2787(平日10:00～18:00)

## みかんぐみ『佐久島弘法プロジェクト』2010年2月27日(土)～3月31日(水)

佐久島に八十八弘法を復活させるプロジェクトが始動します。新たな島巡りとなる「佐久島遍路」を一足早く体験してみませんか？

## 『公開制作』

会場／島内4ヶ所 見学自由 ※天候・作業工程の都合により制作できない日もあります。

◎マニエル・タルディッツ／フラワーロード 2月9日(火)～11日(木)

◎加茂紀和子／大山 2月15日(月)～17日(水)

◎曾我部昌史／富士山 2月22日(月)、23日(火)

◎竹内昌義／秋葉山 2月23日(火)、24日(水)

みかんぐみの4人の建築家による弘法の祠(ほくら)の公開制作をおこないます。制作場所の地図は東西渡船場と弁天サロンで配布します。公開制作に関する詳細なスケジュール(変更なども含む)は、www.m-mole.com/sakushima/で随時掲載します。



佐久島の弘法さんの祠

## みかんぐみ

加茂紀和子、曾我部昌史、竹内昌義、マニエル・タルディッツの4人の建築家による建築設計事務所(神奈川県横浜市)。NHK長野放送会館、東大柏キャンパス新棟(伊東豊雄建築設計事務所と共同設計)、2005年日本国際博覧会(愛・地球博)トヨタグループ館、横浜開港150周年記念テーマイベント開国博Y150「Y150はじまりの森」などの公共建築をはじめ、個人・集合住宅、商業施設など多数の建築設計を手がける。

## 『佐久島弘法巡り 現地見学会』

3月27日(土) 13:00～16:00 少雨決行 集合時間／13:00 集合場所／佐久島東渡船場

定員／50名 要事前申込み(定員になり次第、締切りとさせていただきます)

弘法さんの祠が点在する「佐久島弘法道」を、新たに建造された4つの弘法の祠の設計者であるみかんぐみの4人の建築家といっしょに巡ります。

●見学会お問い合わせ・参加お申込み先: オフィス・マッチング・モウル(担当:黒目) E-mail/office@m-mole.com ファックス/0564-58-2784 電話/0564-58-2787(平日10:00～18:00)

## 春のアート&amp;イベント予告

日程が変更することがあります。  
お出かけの際は、改めて日時をご確認ください。

## 『佐久島アート・ピクニック2010』

4月17日(土)～2011年3月31日(木) (予定) 会場／島内各所  
常設展示作品が16点に増えて楽しいアートな島巡りへ出発!

## 『鯉のぼり めりえ&amp;お絵かき会』

4月17日(土)～5月30日(日) (予定) 会場／弁天ギャラリー  
鯉のぼり型の白い紙に色を付けてギャラリーに飾ろう!

## 『佐久島・鯉のぼり展』

4月29日(木・祝)～5月30日(日) (予定) 会場／弁天ギャラリー  
アーティストが鯉のぼりをデザインするとどうなるだろう?

## 『佐久島遍路 弘法道を歩こう』

5月2日(日)～2011年3月31日(木) (予定) 会場／島内各所  
佐久島の歴史と自然の道をスタンプラリーで巡ろう! 今年は7ヶ所だ。

## 『弘法祭り』

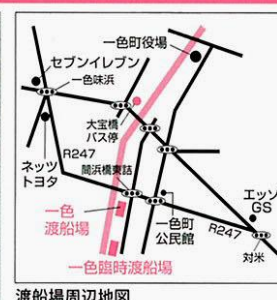
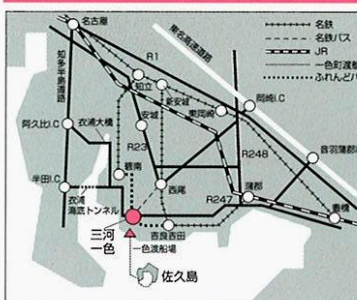
5月4日(火・祝) (旧暦3月21日) 会場／島内各所  
島中の弘法さんに花が飾られ、お菓子のお接待がおこなわれます。

## 『佐久島遍路 弘法道ウォーキング大会』

5月4日(火・祝) (予定) 会場／島内各所  
ガイド付きで島の弘法道を歩きます。約2時間、約5kmの散歩です。

## 佐久島への交通ガイド

## 一色渡船場へのアクセス



## 公共交通機関をご利用の場合



■最適な列車を選ぶ／名鉄ホームページ www.meitetsu.co.jp/  
■名鉄ダイヤのお問い合わせ先／名鉄テレホンサービス TEL.052-582-5151  
■ふれんどバスのお問い合わせ先／TEL.0533-68-3220

■車をご利用の場合  
東名高速道路・岡崎インター約50分／知多半島道路・阿久比インター約40分  
※駐車は一色町公民館駐車場、一色渡船場脇の堤防道路沿いか、臨時渡船場の駐車場に。

## 渡船料金・お問い合わせ

■運賃(片道)  
大人(中学生以上) 800円／小児400円／団体割引(15名以上) 障害者割引有  
■渡船に関するお問い合わせ先  
一色渡船場 TEL.0563-72-8284  
一色町役場産業振興課佐久島振興室 TEL. 0563-72-9607  
■渡船時刻表  
●通常期ダイヤの干潮時は臨時渡船場からの発着となる場合があります。  
●荒天候による欠航や出航時刻の変更をご了承下さい。  
※ダイヤ・運賃は改定する場合がありますので、ご了承下さい。

## ■通常期ダイヤ(7月20日～8月20日を除く)

| 佐久島行  | 一色行   |       |
|-------|-------|-------|
| 一色発   | 西港発   | 東港発   |
| 7:40  | 7:02  | 6:55  |
| 9:30  | 8:27  | 8:20  |
| 11:30 | 10:37 | 10:30 |
| 13:30 | 12:37 | 12:30 |
| 15:50 | 15:07 | 15:00 |
| 17:50 | 17:22 | 17:15 |

## 重要なお知らせ

佐久島渡船場が4月28日  
移転オープン予定。詳細は  
次号でお知らせします。

一色渡船場から佐久島西港へは20分。  
西港～東港は約5分です。  
※電車・バス・渡船ともに本数が少ないので、  
時間の余裕を持ってお越し下さい。